

各点数に対する技術・モノの色分けの考え方

以下の基本的な考え方に沿って、各診療報酬項目について技術・モノの色分けを行う。

【技術】… 診察、検査等に従事する医師・看護師・技師等の人件費

【モノ】… ① 検査等に伴い必要となる医薬品、医療機器、医療材料等の物品

- ・ 診療報酬上個別に価格が設定されている医薬品等
（例）カテーテルや造影剤
- ・ 個別項目に包括されているもの
（例）滅菌シーツやガーゼ

② 検査等に伴い必要な施設・設備等

- ・ 診断用大型機械等の医療機器
（例）MRI、CT、エコー、内視鏡
- ・ その他検査室や診察室等の施設やサーバー等の設備
（例）MRI検査室、生理検査室、画像診断用モニター

【混在】…「技術」、「モノ」のいずれの要素も含まれているもの。

技術・モノの色分けの例

(第4部 画像診断)

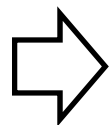
技術

E000 透視診断
E001 写真診断
E004 基本エックス線診断料
E102 核医学診断
E203 コンピューター断層診断

E002 撮影
E003 造影剤注入手技
E100 シンチグラム
E101 シングルホトンエミッションコンピューター断層撮影
E101-2 ポジトロン断層造影
E101-3 ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
E200 コンピューター断層撮影 (CT撮影)
E201 非放射性キセノン脳血流動態検査
E202 磁気共鳴コンピューター断層撮影 (MRI撮影)

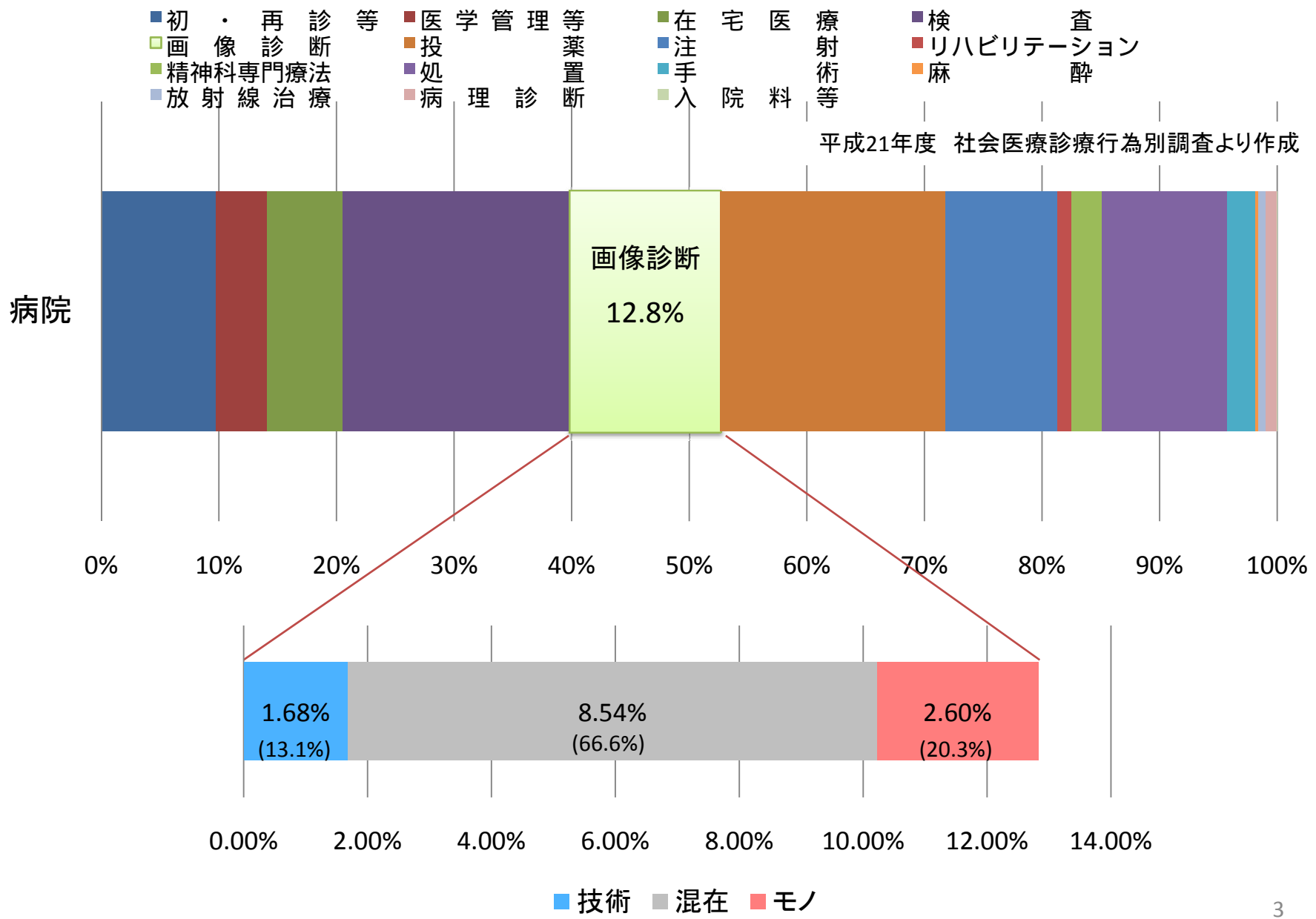
モノ

E300 薬剤
E400 フィルム
E401 特定保険医療材料



画像診断については診療報酬区分が読影 (= 技術) とフィルム代 (= モノ) と撮影 (= 技術・モノが混在) の構成となっているため、色分けが比較的容易。

病院入院外医療費を色分けした例(画像診断)



技術・モノの色分けについて

【画像診断】

造影腹部CT

			モノ				技術料(人件費)		
			単回使用		非単回使用				
			個別に価格が設定されている	包括評価	特定技術に必要 名医療機器	その他設備			
			医薬品・特定保険医療材料	医療材料(ガーゼ・針)	CT、MRI、内視鏡、超音波装置等	建物	医師	看護師	その他
E200	CT撮影	900点 (16列以上)			CT装置	放射線防護室			技師
E200 注3	造影剤加算	500点		針・ルート等	CT装置		注入手技		
通則3	電子画像管理加算	120点				サーバー代			
E203	コンピューター断層診断	450点				(ディスプレイ代)	診断料		
E300	薬剤	薬価	造影剤						

【検査】

脳波検査

D235	脳波検査	600点		脳波端子、記録用紙代	脳波測定装置	生理検査室			技師
D238	脳波検査判断料	140点					判断料		

血液検査(外来)

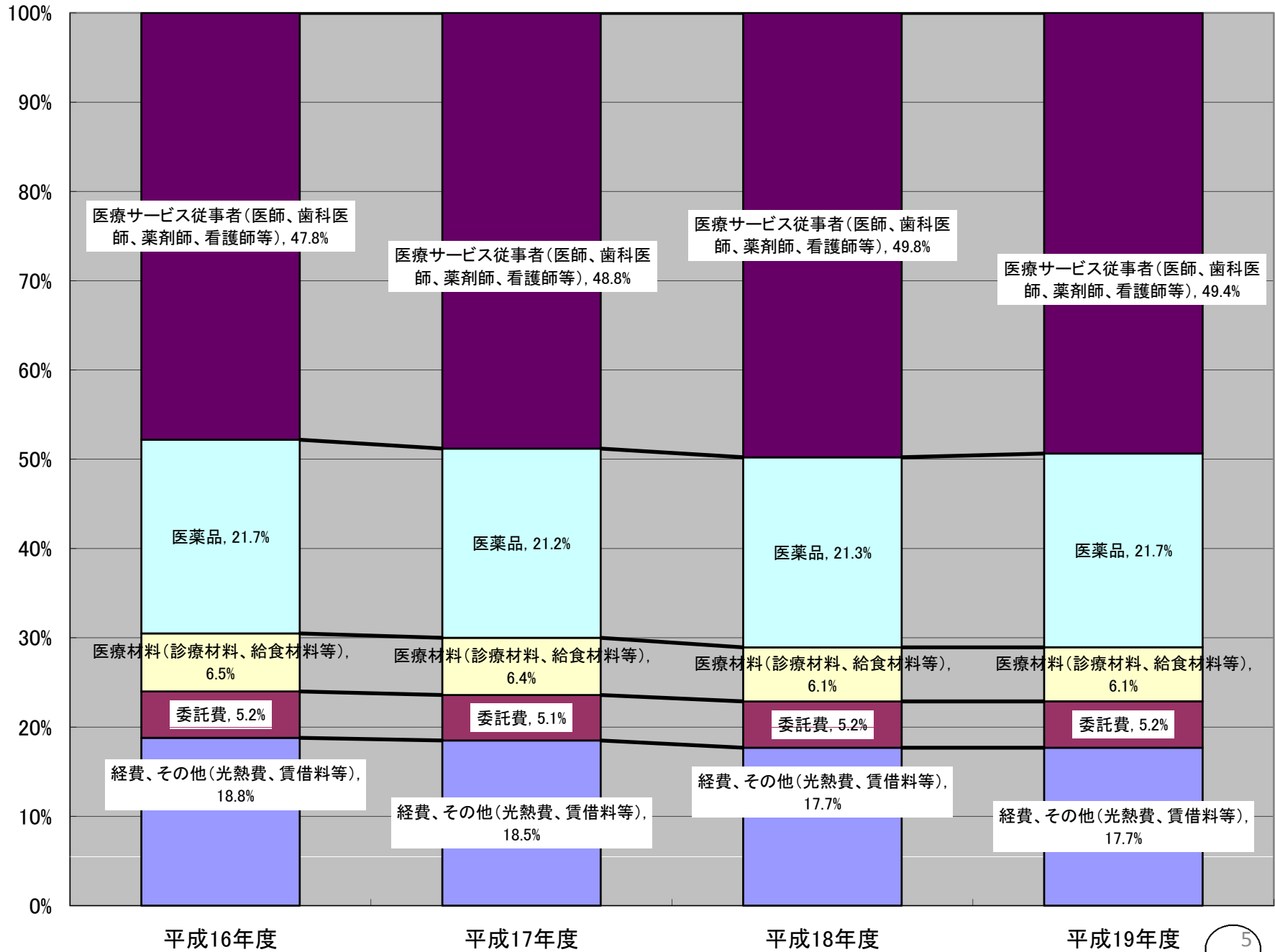
D400	血液採取(静脈)	13点		針、採血管、手袋		採血室	採血手技		
D005 6	末梢血液一般検査	21点		体外診断薬	自動分析装置	(検査室)			技師
D026 2	血液学的検査判断料	125点					判断料		
D026 注3	検体検査管理加算(I)	40点			装置保守点検費用	24時間検査体制			技師

<補足> 考え得る全て技術・モノを網羅的に列挙したものではなく、模式的に簡潔に説明するための例として提示している。



画像診断以外では診療報酬項目の考え方が様々であるため、色分けは容易でなく、恣意的な要素が入り込む余地が大きい。

医療機関の費用構造



国民医療費、医療経済実態調査結果等に基づき推計